

地域のできごと

R5.5

長野市若穂綿内(清水)地区で植樹式が行われました

長野市綿内東町地区で行われていた農地基盤整備事業（清水工区）が完了し、4月6日（木）記念の植樹式が行われました。

植樹式では、県や市、地元、工事関係者が集まり、綺麗に整備された圃場にリンゴの苗木を植えました。

清水工区はリンゴの産地として知られていましたが、農地約10ヘクタールのうち、半分以上が耕作放棄地となっていました。

耕作放棄地の解消と作業の効率化を目指して、国や県、市の補助を受けて3年程前から基盤整備工事が予定されていましたが、古墳が見受けられたことから発掘調査が行われたため3年かかりの工事となりました。この工事では1区画の拡大や傾斜をなだらかにする工事などが行われました。

今回の整備事業では、勾配の修正により防除機や管理機の走行が安全に行えるようになり、また畦畔の雑草管理をラジコン草刈機を使って効率よくできるようになりました。

整備された圃場は地元の農業者や市の農業公社などが連携し、同地区や地区外の農業者18名に貸し出すことが決まりました。

これまで高齢の農業者が多かった清水工区も、今回の整備をきっかけに若手農業者が増え活気のある産地となることと思います。



(地域第一係 竹内)